

125 番の歌 「憐れみ深い人たちは幸福」

与えるならもっと幸せになれる

「**受けるより与える方が幸福**である」。 [使徒 20:35](#)

ポイント：どうすれば**与えることによってもっと幸せになれる**かを考えます。

1-2. エホバは、私たちが与えることによって幸せになれるように造ってくれました。それが私たちのためになっているといえるのはどうしてですか。

エホバは**人間**を**受けるよりも与えることによって幸せになれるよう創造**しました。（[使徒 20:35](#) **私は、このように真面目に働いて、弱い人たちを援助しなければならないこと、また、主イエス自身が述べた『受けるより与える方が幸福である』という言葉覚えておかなければならないことを、あらゆる点で皆さんに示しました**）もちろん、私たちは何かをしてもらった時に幸せを感じないというわけではありません。**プレゼント**をもらうと、**うれしい気持ち**になるものです。でも、**人のために何かをしてあげられると、もっとうれしくなります。エホバがそのように造ってくれたことは私たちのためになっている**といえます。**どうして**そういえますか。

2 エホバは私たちが**自分でも幸せな気持ちを大きくすることができるよう**に**造って**くださいました。私たちは**誰かのために何ができるかを考える時、さらに喜びを感じる**ことができます。エホバは**本当に素晴らしく私たちが造って**くださっていると思いませんか。（[詩 139:14](#) **私はあなたを賛美します。私は、驚くほどに素晴らしく造られているからです。あなたが行ったことの素晴らしさを、私はよく知っています**）

3. エホバが「幸福な神」と呼ばれているのはどうしてですか。

3 聖書に**与えることが幸せにつながる**と書かれていることを考えると、**エホバがなぜ「幸福な神」と**呼ばれているかがよく分かります。（[テモ 1:11](#) **その教えは幸福な神の素晴らしい良い知らせと一致しており、私はその良い知らせを託されました**）**与えることを始めたのはエホバ**で、誰よりも与えてきたのもエホバです。使徒パウロが言っているように、私たちは**エホバのおかげで「命を持ち、動き、存在**しています」。（[使徒 17:28](#) **私たちは神によって(d*の内に)命を持ち、動き、存在しています。皆さんの詩人の中にも、『われわれもその子供(*子孫)である』と言っている人たちがいます**）「**良い贈り物、完全な贈り物**は全て」**エホバから来**ています。（[ヤコ 1:17](#) **良い贈り物、完全な贈り物は全て、天から、光(*天体の光)の父から来ます。父は移り変わる影のように変化したりはしません(*父には影の移動による変化もありません**）

4. もっと幸せになるためにどんなことができますか。

4 ①人のためになることをして、もっと幸せになりたいと思いますか。気前よく与えるエホバに倣うことによってそうできます。この記事ではエホバの手本について学びます。②そして、人のために何かをしても感謝されていないと感じるときにどんなことができるかも考えます。(エフエ 5:1 皆さんは子供として神に愛されているのですから、神に倣ってください) こうした点について調べると、これからも人のためになることをしたいという気持ちが強まり、もっと幸せになれるでしょう

①気前よく与えるエホバに倣う

5. エホバは生活に必要などんな物を与えてくださっていますか。

5 エホバがどんなものを気前よく与えてくださっているか、幾つか考えましょう。エホバは生活に必要な物を与えてくださっています。私たちはぜいたくな生活をしているわけではないかもしれませんが、エホバのおかげで衣食住など生きていくのに必要な物は与えられています。(詩 4:8 私は横になって穏やかに眠ります。エホバ、あなただけが私を安心して暮らせるようにしてください。マタ 6:31-33 それで、心配して、『何を食べるのか』、『何を飲むのか』、『何を着るのか』などと言ってはなりません。32 これら全ては異国の人々が必死に求めているものです。天の父は、あなたたちがこうしたもの全てを必要としていることを知っています。33 ですから、王国と神から見て正しいことをいつも第一にしましょう。そうすれば、こうしたほかのもの全て、あなたたちに与えられます。デモ一 6:6-8 もちろん、持っている物で満足しつつ神への専心を示すことには、大きな利益があります。7 私たちは何も持たずに世に生まれ、何も持たずに世を去ります。8 ですから、食物(*命を支える物)と衣服(if*住まい/d 覆い)があれば、それで満足します) エホバはこうしたことをただの義務感から行っているわけではありません。では、どうしてそうしてくださっているのでしょうか。

6. マタイ 6章 25, 26 節からどんなことを学べますか。

6 エホバは私たちのことを愛しているので必要な物を与えてくれています。マタイ 6章 25, 26 節 それで、何を食べて何を飲むのだろうか自分の命のことで、また何を着るのだろうか自分の体のことで、心配するのをやめなさい。命は食物より、体は服より大切ではありませんか。26 鳥をよく観察しなさい。種をまいたり、刈り取ったり、倉に集めたりはしません。それでも天の父は鳥を養っています。あなたたちはそれよりも価値があるのではありませんかのイエスの言葉を考えてみましょう。(読む。) イエスは鳥を例に挙げて次のように言いました。「[鳥は]種をまいたり、刈り取ったり、倉に集めたりはしません。それでも天の父は鳥を養っています」。そしてイエスは、「あなたたちはそれよりも価値があるのではありませんか」と問い掛けました。何を教えたかったのでしょうか。エホバにとって、ご自分に仕える人たちは動物よりはるかに大切だということです。エホバは動物を養っているのですから、私たちにも必要な物を必ず与えてくれると確信できます。エホバは優しいお父さんとして、愛の気持ちから家族みんなを養ってくれています。(詩 145:16 あなたは手を開いて、生きている全てのものの願いをかなえる。マタ 6:32 これら全ては異国の人々が必死に求めているものです。天の父は、あなたたちがこうしたもの全てを必要としていることを知っています)

7. 気前よく与えるエホバに倣うどんな方法がありますか。(写真も参照。)

7 私たちもエホバに倣って、必要な物を愛の気持ちから仲間と分け合うことができます。例えば、食べる物や着る物を必要としている兄弟姉妹が身近にいますか。エホバはあなたを通してその人を助けたいと思っているかもしれません。エホバの証人は、特に災害が起きた時に進んで他の人を助けることで知られています。コロナのパンデミックの間にも、兄弟姉妹は食べ物や着る物など必要としている物を仲間と分け合いました。世界的な活動のために惜しみなく寄付した人も大勢います。それは世界中で救援活動を行う上でとても助けになりました。兄弟姉妹はヘブライ13章16節の言葉を心に留めて行動しました。「←善を行うことや、持っている物を分け合うことを忘れてはなりません。神はそのような犠牲をととても喜んでくださいます」。



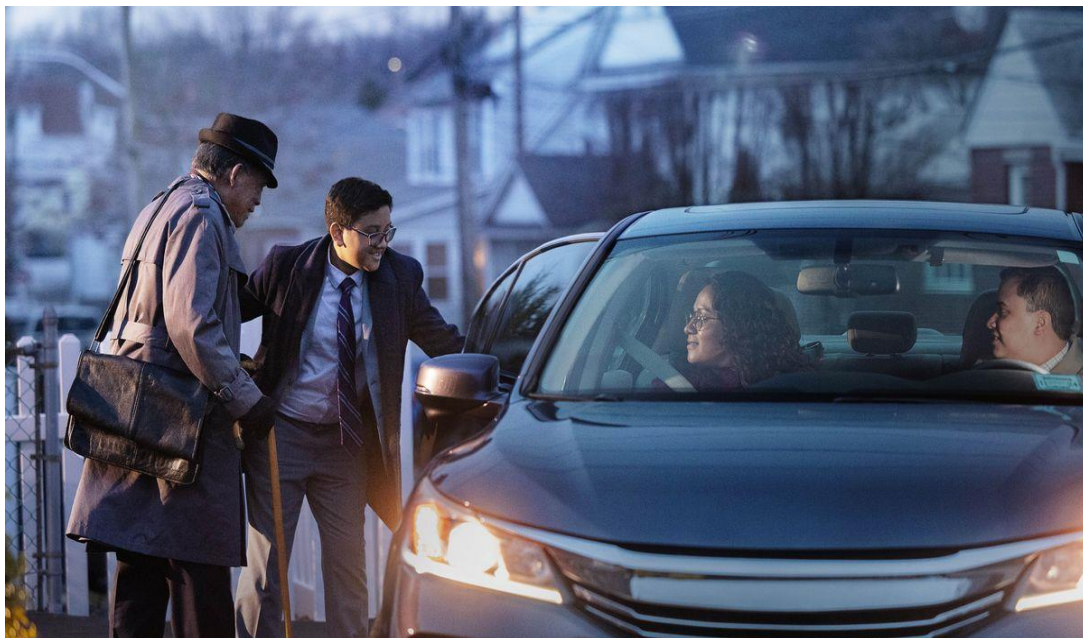
私たちはみんな、気前よく与えるエホバに倣うことができる。(7節を参照。)

8. エホバはどんなことをする力を与えてくださいますか。(フィリピ2:13)

8 エホバは力を与えてくださいます。エホバはご自分の持っている無限の力を喜んで私たちに与えてくださいます。(フィリピ2:13 神はご自分の望みを実現させるために皆さんを力づけてくださいます。行動するための意欲と力の両方を与えてくださるのですを読む。) 誘惑に抵抗するための強さや難しい試練を忍耐するための力を祈り求めたことがありますか。一日なんとか頑張れるように力を与えてください、と祈ることもあったかもしれません。エホバが祈りを聞いて力を与えてくださった時、パウロの言葉の通りだと感じたことでしょうか。パウロはこう書きました。「力を与えてくださる方のおかげで、私は強くなり、どんなことも乗り越えられます」。(フィリ4:13 力を与えてくださる方のおかげで、私は強くなり、どんなことも乗り越えられます(*行えます))

9. エホバに倣って、自分の力をどのように仲間のために使うことができますか。(写真も参照。)

9 私たちはエホバのように無限の力を持っているわけでも、エホバのような仕方でほかの人に力を与えられるわけでもありません。でも、自分の持っている力をほかの人を助けるために使うなら、エホバに倣うことができます。例えば、高齢や病気の兄弟姉妹のために用事をしたり家事を手伝ったりすることができるかもしれません。また状況が許すなら、王国会館の清掃やメンテナンスを手伝うこともできます。このような仕方で自分の力を使い、兄弟姉妹を助けられます。



自分の持っている力を兄弟姉妹のために使うことができる。（9節を参照。）

10. どんな言葉を掛けるなら、他の人の助けになれますか。

10 言葉によっても人を力づけることができるということを忘れないでください。心からの褒め言葉を掛けたい人が誰かいますか。慰めの言葉を必要としている人がいるでしょうか。もしそうなら、自分から行動しましょう。その人の家を訪問したり、電話をかけたり、手紙やメールやメッセージを送ったりすることもできるかもしれません。あまり気の利いたことが言えないとしても大丈夫です。たとえ多くを語らなくても、心から気遣う言葉には大きな力があります。それは兄弟姉妹にとって、一日頑張ってエホバに仕える力になり、前向きな気持ちを保つための助けになることでしょう。（格 12:25 心配事があると心が沈み(*憂鬱になり)、 良い言葉によって心が晴れる。エフエ 4:29 不快な(d*腐った)言葉を口から出してはなりません。その場に合った励ましの言葉を述べて、聞く人のためになるようにしましょう)

11. エホバはどのように知恵を与えてくれますか。

11 エホバは知恵を与えてくれます。ヤコブはこう書いています。「皆さんの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は神に求め続けてください。神はあら探しをしたりせず、全ての人に惜しみなく与えてくださるからです」。（ヤコ 1:5 皆さんのの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は神に求め続けてください。神はとがめたり(*あら探しをしたり)せず、全ての人に惜しみなく与えてくださるからです。求め続ければ与えられます、脚注）この言葉から分かるように、エホバは知恵を与える時、出し惜しみしたりせず、気前よく与えてくださいます。また、「とがめたり」、「あら探しをしたり」せず、知恵を与えてくださいます。エホバに知恵を求めることを気後れする必要はありません。それどころか、エホバは知恵を求めるようにと勧めています。（格 2:1-6 わが子よ、あなたが私の言葉を受け入れ、私のおきてを大切に(*蓄える)なら、2 知恵に耳を傾け、識別力に心を向けるなら、3 さらに、理解力を叫び求め、識別力を求めて声を上げるなら、4 銀を求めるようにそれを求め続け、隠された宝を探すように探し続けるなら、5 その時、あなたはエホバへの畏れを理解し、神についての知識を見つける。6 エホバご自身が知恵を与えてくださるからである。神の口から知識と識別力が出る)

12. 学んだことを共有するどんな機会がありますか。

12 私たちも、**知恵を与えるエホバに倣う**ことができますか。（[詩 32:8](#) **私はあなたに洞察力を与え、進むべき道を教える。あなたに目を留めて助言を与える**）**エホバの証人には学んだことを共有する機会**がたくさんあります。例えば、**伝道を始めて間もない人を訓練**することができます。長老たちは、援助奉仕者やバプテスマを受けた兄弟たちが**会衆内で割り当てられたことを上手に果たせる**ように**辛抱強く助け**ます。また、**建設やメンテナンス**の分野で**技術**を持っている人たちは、**経験の少ない人たちが支部や王国会館の建設プロジェクトで働けるようトレーニング**しています。

13. 誰かを訓練するとき、エホバが知恵を与える仕方にどのように倣えますか。

13 誰かを**訓練**するとき、**エホバが知恵を与える仕方に倣う**ことは大切です。エホバが**知恵を惜しみなく与えてくださる**ことを思い出しましょう。私たちも自分が持っている**知識や経験を喜んで共有**することができます。**自分の仕事なくなる**ことを恐れて教えるのを控えるようなことがないようにしましょう。「自分の時は誰も教えてくれなかった。だから**見て学べばいい。教える必要はない**」などと**考えてはいけません**。エホバに仕える人たちは全く違う考え方をしています。誰かを**訓練**するとき、**知識だけでなく「自分たち自身を与え」**ることを**心から願**っています。（[テサー 2:8](#) **私たちは優しい愛情を抱き、皆さんに神の良い知らせを伝えるだけでなく自分たち自身を与えたいと思いました。皆さんを深く愛するようになったからです**）そして、**今度はその人たちが「十分に資格を得て、他の人を教えることができるように」**な**ってほしい**と思っています。（[テモ二 2:1, 2](#) **あなた(d* 私の子であるあなた)に言います。キリスト・イエスの惜しみない親切により、絶えず力を得なさい。2 また、私から聞き、多くの証人によって確かめられた事柄を、忠実な人たちに託しなさい。そうすればその人たちは十分に資格を得て、他の人を教えることができるようになります**）このように**惜しみなく与える**なら、**周りの人もそうしようと思う**ようになるかもしれません。そのようにして、**与える**ことから来る**幸せをみんなが味わえ**ます。

②与えても感謝されていないように思えるとき

14. ほかの人のために何かをすると、たいていどんな反応が返ってきますか。

14 誰かのために何かをすると、**たいてい感謝**されます。相手が**兄弟姉妹の場合は特に**そうでしょう。**お礼のカード**をくれたり、ほかの仕方で**感謝を表して**くれたりするかもしれません。（[コロ 3:15](#) **また、キリストによる平和が心に満ちる(*心を制御する)ようにしましょう。皆さんは1つの体となって平和を得るために招かれたからです。感謝を表しましょう**）そのように**感謝されると、もっとうれしく**なります

15. 相手が感謝してくれないとき、どんなことを思い出すといいですか。

15 でも、いつも感謝してもらえないというわけではないでしょう。**誰かのために何かをしても、時間やエネルギーやお金をどれくらい使ったかを相手**が**全然気にしていないように感じる**ときがあるかもしれません。そういう場合でも、**がっかり**したり**いらいら**したり**しないためにどんなことができる**でしょうか。この記事の主題聖句の[使徒 20章 35節](#) **私は、このように真面目に働いて、弱い人た**

ちを援助しなければならないこと、また、主イエス自身が述べた『受けるより与える方が幸福である』という言葉覚えておかなければならないことを、あらゆる点で皆さんに示しましたの言葉を思い出しましょう。与えることから来る幸せは、相手がどんな反応をするかに懸かってはいません。それで、感謝されていないように思えるときでも喜んで与えることができます。どうすればそうできるか、幾つかの方法を考えてみましょう。

16. 喜んで与えるために、何に目を向けることができますか。

16 **エホバの手本に目を向けましょう。** エホバは感謝されるかどうかに関わりなく、みんなに良いものを与えています。（[マタ 5:43-48](#) あなたたちは、こう命じられたのを知っています。『隣人を愛し、敵を憎まなければならない』。44 しかし私は言います。敵を愛し続け、迫害する人のために祈り続けなさい。45 自分が天にいる父の子であることを示すためです。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるのです。46 愛してくれる人を愛したからといって、どんな報いがあるのでしょうか。徴税人も同じことをしていませんか。47 兄弟たちにだけあいさつしたからといって、特別なことをしているのでしょうか。異国の人も同じことをしていませんか。48 ですから、あなたたちは、天の父が完全であるように完全でなければなりません）私たちも同じようにできます。エホバは、「**返してもらふことを期待せず**に」与える人の「**報いは大き[i]**」と教えています。（[ルカ 6:35](#) かえって、敵を愛し続け、善を行い続け、返してもらふことを期待せずに貸すことを続けなさい。そうすれば、報いは大きく、あなたたちは至高者の子となります。神は感謝しない悪人にも親切なのです）それで、感謝の言葉を「**返して**」もらえなくても、がっかりしないでください。エホバはあなたが**他の人を助ける**ために「**快く与える**」様子を見て、**必ず報いて**くださいます。（[コリ二 9:7](#) 一人一人が、嫌々ながらも強いられてでもなく、心に決めた通りに行ってください。神は快く与える人を愛されます。[格 19:17](#) 立場が低い人に親切にする人はエホバに貸しており、神はその行いに報いて(*返して)くださる）

17. 正しい見方を保つのに、どんなことが役立ちますか。（[ルカ 14:12-14](#)）

17 **与える** ことについて**正しい見方を保つ** 上で、[ルカ 14 章 12-14 節](#)次にイエスは自分を招いた人にも言った。「昼食会や夕食会を設けるときには、友人や兄弟、親族や裕福な隣人などと呼んではなりません。その人たちを呼ぶと、お返しに招かれて報われるでしょう。13 むしろ、宴会を設けるときには、貧しい人、体が不自由な人、足が不自由な人、目が見えない人などを招きなさい。14 そうするなら幸せです。その人たちにはあなたに報いるものが何もないからです。あなたは、正しい人たちが復活する時に報われます」でイエスが教えたことは役に立ちます。（読む。）**自分に親切にしてくれる人に対して親切にする**ことは間違っていないです。でも、**心のどこかでお返しを期待**して与えていることに気付いたならどうでしょうか。イエスが言われたことを思い出してください。**もてなしたり人に何かを与えたりする**のが**難しい状況にある人に親切に**するようにしましょう。そうするなら、**エホバに倣う**ことができ、**幸せな気持ちにな**れます。正しい見方をしているなら、**相手が感謝してくれないときにも喜びを失わずに済みます。**

18. どうすれば相手の反応を広い心で受け止めることができますか。

18 **相手の反応を悪く解釈しないようにしましょう。**（[コリ一 13:7](#) 愛は全てのことに耐え、全てのことを信じ、全てのことを希望し、全てのことを忍耐します）**感謝していないように見え**ても、そう**決め付けな**

いください。ただ伝え忘れているだけかもしれないと考えることができます。思ったような反応が返ってこない理由はほかにもあるかもしれません。感謝していても、それを表現するのが苦手な人もいるでしょう。以前は自分が助ける側だったので、助けてもらうのを気まずく感じているのかもしれません。兄弟姉妹を本当に愛しているなら、相手の反応を広い心で受け止め、これからも喜んで与えることができるでしょう。(エフエ4:2 いつも謙遜で(*自分を低く見て)温和であり、辛抱し、愛を抱いて互いに寛容であってください)

19-20. すぐに反応があることを期待しないことはどうして大切ですか。(写真も参照。)

19 すぐに反応があることを期待しないようにしましょう。与えることについてソロモン王はこう書きました。「あなたのパンを水の上に投げなさい。月日がたてば、あなたはそれを再び得ることになる」。(伝11:1 あなたのパンを水の上に投げ(*水面に流し)なさい。月日がたてば、あなたはそれを再び得ることになる)この言葉の通り、何かをしてかなり「月日がた[って]」から感謝されるということがあります。例えばこんなエピソードがあります。

20 何十年か前、ある巡回監督の妻は、バプテスマを受けて間もない姉妹に手紙を送り、エホバに仕え続けるよう励ましました。それから8年たって次のような返事を受け取りました。「姉妹は全くご存じないと思いますが、姉妹が何年もの間、私の助けになってくださったことについて、ぜひ手紙を書いてお知らせしたいと思いました。[カードを受け取って]心温まる思いがしましたが、特に私の心を動かしたのは聖句でした。私は決してその聖句を忘れませんでした」。*ヨハネ第二8節の「よく気を付けて、私たちが働いて生み出したものを失わないようにし、十分な報いを得られるようにしなさい」という聖句そして大変な時期があったことに触れて、こう書いています。「時々、真理からも種々の責任からも、あらゆることから逃げ出してみたいと思いました。けれども姉妹の書いてくださった聖句がいつも私の心の中にあったので、.....歩み続けることができました。この8年間でこんなに自分に影響を与えた事柄はありませんでした」。巡回監督の妻は「月日がた[って]」からこの手紙を受け取り、本当にうれしかったことでしょう。私たちも、誰かに親切にして随分時間がたってから感謝を伝えてもらうことがあるかもしれません。



誰かに親切にして随分時間がたってから感謝を伝えてもらうことがあるかもしれない。(20節を参照。)*

21. どんなことを考えると、気前よく与えるエホバに倣いたいと思いますか。

21 ここまで考えてきたように、エホバは人間が何かをしてもらったときだけでなく、人のために何かをするときにもっと幸せになるように造ってくださいました。仲間の助けになれると幸せを感じるものです。感謝されるとうれしくなります。でも、感謝してもらえるかどうかに関わりなく、正しいことができたことを喜べます。私たちが人のために何を与えるとしても、「エホバはそれ以上のものを[私たち]に与えることができます」。(代二 25:9 アマジヤは真の神に仕える人に言った。「ですが、私がイスラエルの部隊に渡した3.4トンの銀はどうでしょうか」。真の神に仕える人は答えた。「エホバはそれ以上のものをあなたに与えることができます」) 払った犠牲をはるかに超える良いものを与えてくださいます。エホバに喜んでいただける以上にうれしいことはありません。では、気前よく与えてくださる天のお父さんエホバにこれからも倣っていきましょう。

どんなことを学びましたか

1. 人のためになることをしたいと思うのはどうしてですか。

- ・S01 エホバは人間を受け取るよりも与えることによって幸せになれるよう創造。それでプレゼントをもらうと、うれしい気持ちになるが、人のために何かをしてあげられると、もっとうれしくなる。
- ・S02 エホバは私たちが自分でも幸せな気持ちを大きくすることができるように素晴らしく造ってくださったので、私たちは誰かのために何ができるかを考える時、さらに喜びを感じる

2. 気前よく与えるエホバにどのように倣えますか。

- ・S07 私たちもエホバに倣って、必要な物を愛の気持ちから仲間と分け合える。世界的な活動のために惜しみなく寄付して、世界中で救援活動を行う上でも助けになれる。
- ・S09 自分の持っている力をほかの人を助けるために使うなら、エホバに倣える。例えば、高齢や病気の兄弟姉妹のために用事をしたり家事を手伝ったり、王国会館の清掃やメンテナンスを手伝うこともできる。
- ・S10 心からの褒め言葉を掛けたい人や慰めの言葉を必要としている人がいたら、言葉によってもその人を力づける
- ・S12-13 知恵を与えるエホバに倣い、学んだことを共有する。伝道を始めて間もない人を訓練したり、兄弟たちが会衆内で割り当てられたことを上手に果たせるように辛抱強く助けたり、建設やメンテナンスの分野で技術を持っている人たちは、経験の少ない人たちが支部や王国会館の建設プロジェクトで働けるようトレーニングできる。誰かを訓練するとき、知識だけでなく「自分たち自身を与え」ることを心から願い、エホバに倣って惜しみなく与える。

3. 相手の反応に関係なく喜んで与えられるのはどうしてですか。

- ・S16 エホバの手本に目を向ける。エホバは感謝されるかどうかに関わりなく、みんなに良いものを与えてくださる。エホバは、私たちが相手の反応に関わりなく他の人を助けるために「快く与える」様子を見て、必ず報いてくださる。
- ・S17 特にもてなしたり人に何かを与えたりするのが難しい状況にある人に親切にするように努めるので、例え相手が感謝を表わせなくても喜びを失わない。
- ・S18 相手の反応を悪く解釈しないため。兄弟姉妹を本当に愛しているので、相手の反応がどうであれ広い心で受け止め、これからも喜んで与えることができる。
- ・S19 すぐに反応があることを期待しないため。誰かに親切にして随分時間がたってから感謝を伝えもらうこともある。